

**健康（からだ）**

災害時における子供へのアレルギー疾患対応 (Medical Note)

子どもと災害 (公財) 日本小児科医会

災害時に備えるべきアレルギー非典型食 (防災と減災の情報サイトあんしんラボ)

**健康（こころ）**

災害時の子どもの心のケア (ユニセフ)

ストレス災害時こころの情報支援センター (国立精神・神経医療研究センター)

西日本豪雨災害子どもの心のケアに関する情報 (国立成育医療研究センター)

**健康（アレルギー）**

災害時のこどものアレルギーに関する相談窓口 (メール: sup\_iasp@ispaci.jp)

災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット (日本小児アレルギー学会)

**乳児・女性の健康**

授乳の情報と相談 (NPO 法人ラ・レーチエリーグ日本)

助産師が伝える災害時の知恵ぶくろ (日本助産師会)

**生活・体験、お役立ち**

乳幼児親子に向けた防災啓発 (防災ママかきつばた)

倉敷市真備支え合いセンター (倉敷市社会福祉協議会)

被災地の子どもとママを支援 (サンサポートオカヤマ)

自治体ホームページ (倉敷市)

福祉と災害を研究するまちづくり会社 (お互いさまセンター まひろラボ)

発行日 2021年3月  
発行 災害と子育て研究会

編集 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 倉敷市立短期大学  
岡山大学教育学部松多研究室 岐阜大学地震工学研究室防災グループ  
岡田地区まちづくり推進協議会 サンサポートオカヤマ

編集デザイン 福井圭一  
イラスト T. OKANO しらいたひわろ  
問い合わせ 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 (阪本) sakamoto@drg.u-hyogo.ac.jp  
倉敷市立短期大学 (平岡) hiraoka@kurashiki-cu.ac.jp  
岡田地区まちづくり推進協議会 (岡野) okadamachikyog@gmail.com

この冊子の著作権は「災害と子育て研究会」に帰属します。著作者に無断の掲載内容の改変はお断りいたします。



# 災害時の子育て

平成30年7月豪雨  
実体験からのヒント

岡山県倉敷市真備町



# 「災害時の子育てをめぐる「声」」 子どもの笑顔を取り戻すために 子ども様子が気になるとき

被災後の生活で困ったことから 子どもの居場所づくり

平成30年7月豪雨による保育施設の被災と復旧  
小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の被災と再開

周りの人とのつきあい、自分のこと 被災後の生活のポイント  
災害時の子育てリアルボイス

発行：災害と子育て研究会

先々の見通しが立たないことが不安だった。学校が始まって避難している実家から学校が遠く送迎が大変だった。早々に学童を再開してください本当に助かった。

子どもが騒いで迷惑になるかと思、車の中で寝たり、岡山の妹の家に避難して真備まで通った。ママ友に聞いた話では子どもの声がうるさいと苦情がでたらしいので、避難所に行かなくてよかった。

# 災害時の 子育てをめぐる「声」

真備町岡田地区まちづくり推進協議会による  
幼稚園・小学校保護者へのアンケートより\*

うちの子大丈夫かなあ？  
普通がようわからん。

「こんくらいのことと相談してええんかなあ？」  
「私って困ってるん？」 そんな言われても自分ではようわからんのじゃけど。

「一人でがんばらず相談して」って、  
どこの誰に何を相談したらええん？

子どもの預け先。  
不安定な子ども。

自宅、両実家が被災したため、頼る所がなかった。水害保険に加入してなかったため、先行きが不透明だった。

子どもの勉強の心配（受験生だったので夏休み受験勉強に真剣に取り組めなかった）被災していない側の辛さ、申し訳なさで苦しんだ。子ども達は大丈夫だろうか心配になった。

猛暑のため子どもの  
居場所に困った。

岡山に身内が誰もいないので小さい子ども2人を抱えての避難所生活は迷惑もかかるし、厳しい。家の掃除もできない。車2台とも水没したので、車を借りて県外にある実家に子どもを預けに行っていた。子どもと会えなくて辛いうえに家の掃除や片付けに追われて辛かった。ちょうど子どもが歩き出す成長も見られなくてとても辛かった。

家の修理にいくらかかるか、  
いつから修理に入ってくれるのか、  
学校はどうなるのか、はっ  
きり決まるまで心配だった。

子どもの体調が次々に悪くなった。  
嘔吐、喘息の発作、食欲不振など。  
毎晩川崎医大救急に行ったり、電話  
で対応を相談した。自分の精神状  
態も不安定なうえに子どもの体調不  
良でいっぱいいっぱいであつらかった。



突然の災害を経験した人にとって、  
どのような困りごとがあり、  
何を解決したらこの先明るくなっていくのか。

平成30年7月豪雨で被災した  
倉敷市真備町の復興過程で寄せられた  
子育てをめぐる「声」から、  
子育て期の方々の参考になるように、  
災害時の過ごし方のヒントをお伝えします。

生活用品、日常生活、  
保育園や学校への送迎。

小学校でフリースペース  
もあったが、子どもが他の  
被災している友達とど  
うかわればいいのか戸  
惑い、ずっと夏休みもど  
こにも遊びに行けなかつ  
たことが可哀想に思えた。

子どもの精神状態がおかしくなりましたが、  
避難生活で狭い逃げ場のない部屋だったので、  
夜遅く泣き叫ぶと行く当てがなくて困った。

子どもたちが速報が流れる  
たびに「逃げよう」と言った。

\*倉敷市真備町岡田地区まちづくり推進協議会が2018年12月に岡田幼稚園・岡田小学校保護者に対し実施したアンケート結果による。回答数124件。

# 平成30年7月豪雨による保育施設の被災と復旧

平成30年に発生した台風7号に伴う梅前線の停滞により、倉敷市では7月5日～7日にかけて雨が降り続き、小田川とその支流が破堤・氾濫・越流し真備町は大規模に浸水しました。ここでは、浸水による学校園の被害と復旧の軌跡をたどります。



## 幼稚園・保育園の被害と再開状況

園名	在籍園児数(人)		被災状況	再開状況	被災園の 旧園舎の再開
	2018年5月1日	2020年5月1日			
幼稚園	川辺幼稚園	76	37	1階建の園舎が浸水 使用不可	2020年2月12日
	箭田幼稚園	68	37	1階建の園舎が浸水 使用不可	2020年2月18日
	呉妹幼稚園	15	16	1階建の園舎が浸水	
	岡田幼稚園	62	44	被災なし(一時預かり支援)	
	蘭幼稚園	36	20	被災なし(一時預かり支援)	
	二万幼稚園	18	17	被災なし(一時預かり支援)	
保育園	まぎびの里保育園	194	200	1階建の園舎が浸水 使用不可	2021年秋(予定)
	真備かなりや保育園	158	165	2階建の1階が浸水 使用不可	2018年11月1日
	真備かなりや小規模保育園	18	19	1階建の園舎が浸水 使用不可	2019年2月1日
	真備かなりや第二小規模保育園	15	19	1階建の園舎が浸水 使用不可	2018年11月1日
	ナーサリーあんど	8	4	3階建の1階保育園が浸水 使用不可	2019年2月1日
					9月12日 他施設利用

(出典) 倉敷市「平成30年7月豪雨災害からの復興への記録」2020年に基づき作成。在籍園児数は倉敷市資料による。

## 保育者の声

## 浸水被害からの復旧

7月8日(日) 午後になって真備町内に入ることができたが、通行止めにより幼稚園にたどりつくことが難しかった。少人数の園だったため、8日には保護者の協力もあり園児の安否確認ができた。園児16名のうち11名が被災していた。9日(月)には委員会より招集がかかり9階に集合した。そこで市の対応とこれからのことを聞き幼稚園のカギを渡して帰った。施設課の点検が終わるまでは、園舎の中に入らないようにと指示があった。10日(火) になって真備町に入ることができた。一面泥をかぶった真白い状態の道路の中、やっこの思いで幼稚園にたどり着いた。幼稚園は想定よりも被害が小さかったので安心したのを覚えている。11日(水) より復旧作業に入れるようになった。とはいえ職員5名のうち2名は被災しており、どう片付けをしたらよいか途方に暮れていた。そこへ呉妹小学校の先生たち5名が応援に駆けつけてくれ片付けを始めることができた。また、地域の方や卒園児の保護者も応援に来てくれ、水を運んでくれたり、トイレ掃除してくれた。13日(金)からは市内の学校の先生たち、延べ100人以上の方々がやってきて掃除が進んでいった。床上5-6cm程度の浸水であったが、何度拭

いても泥がきれいにならないならなかった。また、作業も後手になり、消毒などのこともわからずままままであった。しかし、たくさんの方々の応援で、8月中旬には作業のほうも少しめどが立ってきた。呉妹地区は被災していないと思われていたようで、支援物資がほとんど届かなかった。旧職員が支援物資をたくさん持ってきてくれたことをきかけに、保護者に声をかけ提供することができ、久しぶりの再会で子どもも保護者も笑顔が見られた。

今回のことで、自宅から職場までの道が、どのようにつながっているのか普段から知らなくてよく、地域的に情報が全く入らなかった。情報収集や情報の発信方法を知っておく必要があると感じた。また、保護者支援という点では細かいことまで配慮ができなかった。家庭の状況によって支援してほしいことと、もともとあつたのではないかと。園の中ではできるだけ子どもが落ちたことでも強く感じた。園の中ではできるだけ子どもが落ちて生活できるような、保護者も安心して過ごせることができると、行事の工夫をしながら子ども達の支援にあたっている。

呉妹幼稚園 園長

## 保育施設が復旧するまで

2018年7月	8月	9月	10月	11月	12月
7/7 真備地区保育園・幼稚園休園					
7/9 市内他地区保育園における緊急一時預かり					
7/12~19 未被災幼稚園緊急一時預かり(保護者の要望から急遽開始)					
7/19~10/31 他地区保育園等における緊急代替保育					
7/20~8/31 真備地区の公立幼稚園を活用した仮園舎で一日預かり保育					
7/30 真備かなりや保育園園舎2階での保育再開					
9/1 まぎびの里保育園、旧穂井田幼稚園を利用した仮園舎で再開					
11/1 まぎびの里保育園仮園舎(プレハブ)完成、再開					
					再開後初めての運動会

水害により、保育施設も被災

幼稚園・保育園の先生方も被災

誰もが災害対応に追われていました

# 小学校・中学校・高等学校・高等学校・特別支援学校の被災と再開

川辺小学校、箭田小学校、真備中学校、真備東中学校、真備陵南高等学校、まぎび支援学校は浸水により、岡田小学校、藺小学校、二万小学校は浸水は逃れたものの学校が避難所となり校舎を使用できなくなりました。7月9日、10日は学校は休校、その後前倒して夏休みとなり9月3日に再開しました。被災した学校は、仮校舎での授業再開となり、その後、プレハブ校舎を経て本校舎での授業再開までほぼ2年を要しました。本校舎に戻った後も、新型コロナウイルスの感染拡大により学校が休校になりました。

## 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の被害と再開状況

学校名	学校概要		2018年9月	2018年10月	2019年9月	2020年1月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月～
	児童・生徒数	被害状況等	仮校舎にて授業再開	プレハブ校舎にて授業再開	仮校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開	新型コロナウイルス			
川辺小学校	2018年5月1日	校舎1階が浸水し使用不可	297	運島東小学校 運島東幼稚園	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年1月8日～)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
	2020年5月1日		290	藺小学校敷地のプレハブ校舎にて授業再開 (2018年10月9日～)						
箭田小学校	287	校舎1・2階が浸水し使用不可	261	玉島小学校 県立玉島高等学校	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年2月18日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
岡田小学校	222	学校を避難所として利用	219	学校を避難所として利用	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年2月18日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
藺小学校	245	学校を避難所として利用	226	学校を避難所として利用	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年2月18日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
呉妹小学校	65	学校を避難所として利用	61	学校を避難所として利用	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年2月18日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
二万小学校	82	学校を避難所として利用	71	学校を避難所として利用	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年2月18日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
真備中学校	248	校舎1・2階が浸水し使用不可	231	倉敷芸術科学大学 26号館	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年3月2日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
真備東中学校	394	校舎1階が浸水し使用不可	383	霞丘小学校	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年3月2日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
真備陵南高等学校	168	校舎1階が浸水し一部の施設が使用不可	121	市立工業高等学校 県立倉敷工業高等学校	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年2月3日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
倉敷まぎび支援学校	174	校舎1階が浸水し使用不可	151	敷地内のプレハブ校舎にて授業再開 (2018年9月10日～)	本校舎にて授業再開	本校舎にて授業再開 (2020年2月3日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開
	59		倉敷市立倉敷支援学校	本校舎にて授業再開 (2019年9月2日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開		
	89		県立岡山南支援学校	本校舎にて授業再開 (2019年9月2日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開		
	25		県立早島支援学校	本校舎にて授業再開 (2019年9月2日～)	臨時休校 (2020年3月2日～26日)	臨時休校 (2020年4月22日～5月20日)	分散登校 (2020年5月21日～31日)	授業再開		

(出典) 倉敷市「平成30年7月豪雨災害からの復興への記録」2020年及び各学校提供資料に基づき作成。在籍児童・生徒数は倉敷市資料による。

## 学校再開と通学をめぐる課題

真備から離れた総社市や玉島・水島地区のみなし仮設住宅に入居した人もいたことから、学校再開にあたっては、スクールバスやタクシーを利用した通学支援が行われました。乗車時間は概ね1時間程度で、停車場所は基本的には既存のバス停が利用されました。久しぶりに友だちと過ごせることに喜びつつも、なかには、通学に2時間を要する子どももおり通学の悩みも。



被災した箭田小学校 (2018年7月7日)



プレハブ校舎 (箭田小学校)



岡田小学校避難所

(写真) 地域住民提供



(出典) 倉敷市「平成30年7月豪雨災害からの復興への記録」2020年に基づき作成。

# 被災後の生活で困ったことから 避難の仕方

● **どこに避難するのかわからない・・・**  
 防災行政無線のサイレンを聞いた子どもが不安がる、自宅の近くに大きな川が増えている、自宅の裏山からゴロゴロという音がする、茶色の水が流れているなどのいつもの違う状況があれば速やかに自宅を離れて安全な場所に避難しましょう。災害が発生する危険性があると、小学校・中学校や公民館などに「避難所」が開設されます。避難所が開設されるのは、市町村が避難情報（避難準備・高齢者等避難開始）を出すタイミングです。自宅近所のごが避難所になるのか、日頃からハザードマップで確認しておきましょう。ハザードマップは市町村から配られています。

● **避難しても子どもが周りに迷惑をかけるから・・・**  
 どこに避難するのかの選択は、「その時のあなた（運）」によってベスト」の視点で選んでください。子どもがストレスから夜泣きや叫んだり、走ったり、周囲の目が気になることもあります。それは当然のことです。避難所、車中、自宅、親戚宅などいろいろありますが、その時の状況で避難所には、受付等の被災者の情報を集約している人に、被災していること、不安に感じていることを伝えてください。被災後の生活支援等の情報、物資を受け取るときに役立ちます。

● **何を持って逃げればいいのかわからない・・・**  
 着替え、水、食料、懐中電灯、消毒液、生理用品、ティッシュ、タオル、医薬品、マスク、筆記用具、ビニールシートに加えて、抱っこ紐、粉ミルク、オムツ、おしりふき、ウェットティッシュなどの普段ママバッグに入れているモノは、災害時にも役に立ちます。  
 ・避難所には離乳食やアレルギー対応の食料はないので、準備しておきましょう。  
 ・子どもの気がまぎれるようにおもちゃやゲームも持って避難しましょう。  
 ・車がないと避難生活で移動に困ることも。車を使っている人は、自分も車も早いタイミングで安全に避難させましょう。

● **車中泊はエコノミークラス症候群の危険性があります・・・**  
 避難所での混雑を避け、車中泊を考えている人もいますが、車中泊にはエコノミークラス症候群（肺塞栓症）になる危険性があります。肺塞栓症を発症する人の割合は女性、それも災害発生から1日～3日以内の発症が多いというデータもあります。車中泊はあくまで安全確保のためと考え、車中泊する場合は、同じ姿勢でじっとしていない、着圧ソックスをはく、水分を多めにとることを心がけてください。車中泊に備え、携帯トイレ、水、着圧ソックスは車の中に入れておきましょう。

## 「罹災証明」が 生活再建の第一歩です！

被災した場合に必要な書類が、住家等の被害の程度を証明する「罹災証明書」です。罹災証明書は、市町村の窓口で申請します。住家の被害調査（被害認定）が行われ、被害程度（全壊・大規模半壊・半壊・一部損壊）に応じ証明書が発行されます。罹災証明書は、仮設住宅への入居手続きや、生活再建支援金・義援金の受給手続きに必要な書類ですので必ず申請手続きを行いましょう。なお、認定結果が、実際の被害に対して軽すぎると感じた場合は「不服申請」を出すことも可能です。

## 被災後の住まいの流れ

**避難**  
 (発災～6ヵ月)

【避難所】  
 自宅生活ができない場合は避難所に行きます。避難所は集団生活ですが、物資・情報が集まりやすく、生活再建のヒントが多くあります。  
 【避難所外避難（自宅・親戚宅等）】  
 被災した自宅2階で生活する、親戚宅に避難する等の避難もあります。指定避難所以外の場所に避難する場合は、避難所に物資・情報を取りに行くこともできます。親戚宅等に避難する時は最低限の食料を持つていくと良いでしょう。

## 避難生活 断水、「水がない」で困ったとき

● **ミルクが作れない・・・**  
 支援物資が届いたらそれまではおっぱいを吸わせる（出が心配な人でも、吸わせ続けていると出る量が増えてきたり、吸わせることで母子の気持ちが悪化したりします）、水分（何も無い時はミネラルウォーター）を与えましょう。あとは、届いた物資で、その時の子どもの栄養にあうものを選んで与えていきましょう。

● **哺乳瓶が洗えない・・・**  
 ミルクをあげる時に、きれいなスプーンで少しずつ口に入れたり、角をつぶした紙コップのようなものを使うなどして、赤ちゃんの唇にあてて、少しずつ唇を浸すように、慣れてきたら含ます量を増やすようにして飲ませてみましょう。

● **トイレ**  
 トイレが整備されるまで時間がかかりますが、仮設トイレや避難所のトイレは、子どもが「汚い」「くさい」「和式は使ったことがない」などの理由で行きたくないことがあります。トイレに行くことを我慢して、便秘や膀胱炎などになることも。慣れるまでの間、時間を見てトイレへ行くことを促したり、一緒に行ったり、どうしても排泄できない場合は、紙おむつなどを使うなど、その子に合わせた工夫や配慮が必要です。この時、必ず子どもの恥ずかしい気持ち、プライバシーには配慮してください。また、どんな場合も強要はしないようにしましょう。

● **お風呂**  
 お風呂は共同になることが多く、周囲に気兼ねしてきれいにできなかつたという声も。特に子どももいる場合、入ることで精いっぱいという声も。ちょっと工夫して、施設の利用時間を短くしてみましょう。たとえば、着替えは全部袖通ししておいて一気に着せたり、お尻や首回りなど先洗いで流すだけにしたり。これは、寒い時にも役に立ちます。まずは、焦らずにいきましょう。

● **食事**  
 台所で調理ができなくなると、避難所で配られるパン・おにぎり・お弁当の生活が続きます。お弁当は味が付けが濃いうえに冷めていることも。子どもが食事を食べたがらないこともあります。食欲がないときは、食べ慣れたもの、食べやすいものから。カセットコンロやポットでお湯をわかせるようになると、温かいものが食べることができホッとします。



**仮住まい**  
 (2ヵ月～2年)

住居が全壊する等の被害を受けた場合、応急仮設住宅が提供されます。応急仮設住宅には、新たに建物を建設するもの（建設型仮設住宅）、民間賃貸住宅を行政が借上げ提供するもの（借上型仮設住宅）、公営住宅を提供するもの（借上型仮設住宅）があります。いずれも家賃は無料ですが、光熱費・管理費・駐車場料金・自治会費は自己負担となります。無償貸付期間には制限があります（原則2年間）。

**住まいの再建**

住居が被害を受けた場合は、被害箇所を修理・リフォームする、自宅を再建する、(復興) 公営住宅に入居するの方策があります。住居の被害程度と再建のペースに応じて、それをサポートする制度（応急修理、生活再建支援金等）もあります。ただし、支援金額は大きくないので自己負担を減らすためにも保険（火災保険の被災補償）には入っておくようにしましょう。

# 子どもの居場所づくり

保育園・幼稚園・小学校も被災して休園・休校に。自宅・近所の公園も被災。家の片付けをする間、子どもの居場所をどうする？

真備町では、「家の片付けをする間子どもを預けられないか」という保護者の声にこたえる形で、保育園・幼稚園関係者、ボランティアによる子どもの居場所づくりがボランティアな取り組みとして行われました。

## 緊急的一時預かり支援（倉敷市）

真備地区の園に入所中の園児や真備地区で被災した人を対象とした緊急一時預かり支援が行われました。いずれも利用料は無料。

- 3歳児～小学3年生  
期間：7月20日～8月31日 平日8:00～18:00 土・日・休日保育  
場所：岡田幼稚園・園幼稚園・二万幼稚園
- 生後3ヶ月～3歳未満  
期間：7月14日～8月31日 9:00～16:00  
場所：真備公民館二万分館

## 岡山県・岡山県立大学による一時預かり支援

- 3歳児～小学3年生（述べ787人が利用）  
場所：岡山県立大学チャピニーひろば  
期間：7月18日～8月29日 9:30～16:00 月～土  
避難所（岡田小学校・園小学校・二万小学校）からバスで送迎

## 児童クラブや児童館

- 児童クラブ  
玉島地区長尾と呉株の児童クラブが中心となって、被災地区の小学生を受け入れられました。利用した子どもたちが、これに「まひひよっこりおもしろおたからクラブ」と名付きました。  
期間：7月12日～12月22日 8:00～19:00  
場所：玉島公民館長尾分館（10月10日から真備地区内公民館に移動）
- 児童館  
全壊した真備児童館は10月1日から真備保健福祉会館を臨時会場として業務を再開、2020年3月22日元の場所に復旧しました。

### 保育士の声

私たちががんばれば

この町は続いていく。

### 保育者の声

## 一時預かり支援の取り組み

6日（金）大雨洪水警報発令のため幼稚園は休園。7日（土）明け方4時、教委から「幼稚園を避難所として開けてほしい」と連絡を受けたが、「道路の安全の確保ができない」とのことで自宅待機との指示を受ける。8日（日）、自宅で携帯電話から「幼稚園メール」を使用し、園児の安全確認をする。数名から返信が来ず心配する。夕方には、幼稚園へ出向くことができ、岡田小の避難所を訪れた際に、聞き取りをしたり、PTA会長と連絡をとったり、度々電話をかけたけれど、全員の無事が確認できず。倉敷市全体が9・10日を臨時休園、真備地区は19日まで臨時休業となった旨を保護者に伝える。

9日（月）この日より職員も出勤できるようになり、岡田小の避難所の様子を見に行く。日中は、家の片付け等で保護者や園児の姿はほぼ見られなかった。職員は、岡田小で清掃やゴミ集めのなど、避難所での作業にあたり、7月12日（木）～19日（木）まで、保護者の要望もあり、急遽、一時預かりを実施することとなる。「幼稚園メール」で保護者に連絡するとともに、小学校の避難所にも、「真備町内で被災の片付け作業をしている間、3歳から小学3年生までのお子さんを預かります」といった掲示をして周知した。職員4人に加え、児童館職員・退職園長・セーブ・サ・チルドレン等のボランティア団体、土日には、近隣の市外の小学校教諭や学生等からの申し出もあり、ボランティアで預かり保育を実施した。

7月20日～8月31日までは、教育委員会の被災者支援の取り組みとして、3～5歳児を対象とした無料一時預かり保育が、被災していない3園で実施された（岡田幼稚園は土・日・祝日も実施）。退職園長や市内幼稚園職員、また真備の公立保育園職員もソフトを組んで預かり保育に携わった。多くの方々の協力と連携を大変ありがたかった。どの幼児も心に大きなショックを受けている時であるが、特に保育園や他の幼稚園から預かり保育を利用する子どもたちにとっては、環境が違い信頼関係もできていない場でも過ごすことになる。保護者には、朝の受付時に、アレレギ、その他注意すること等の確認をしたが、本来通っている園の先生方とも、子どもたちについての情報を共有する機会を設けられれば良かったかと、後になって悔やまれた。昼食は、市より毎日支援（おにぎり・魚肉ソーセージ、ハンバーガー、ハム、マヨパン・バナナ、の3パターンのローテーション）があった。台所が使用できないことはもちろん、店も開いていない状態のため、保護者も大変喜んでおられた。

9月3日（月）に2学期が始まった。3分の2以上の園児が被災しており、半数の幼児がみなし住宅から、1名は避難所からの通園であった。朝の登園時間は通常より10分程度遅くした。小中学校には通学バスが用意されたが、幼稚園への適用はないため、大半の保護者が片道30分以上かけて送迎をされた。保護者の送迎の車を、当初は小学校の運動場や広場に停めさせてもらっていたが、幼稚園近くの駐車場を確保を教育委員会も働きかけて下さり、幼稚園近くには気持ちよく場所を貸して下さる方がおられ、保護者も大変喜ばれた。幼稚園に行けば、いつもと同じ友達、先生、仲間に出会える、話ができる、と速くからでも頑張る通園

してくる親子に私たち職員もかえって励まされる思いであった。新学期が始まるにあたって、弁当を持たせることが難しい保護者には、宅配弁当300円の利用ができるようにした。また、既定の制服や用品、通園バック・上靴袋などの手作り品など、生活に必要なものを色々な支援団体や市・業者が提供して下さったものも有り難かった。また、岡田に親戚があるという制服業者は、同業者に声掛けして集めた在庫品（いろいろな園の制服）を山のように届けて下さり、真備町内の園にも分配した。保護者も洗ひ替えて大変喜ばれた。

園が再開して、保護者にアンケートをとると、被災していない保護者も辛い気持ちを持っていることが分かった。改めて、この地域に住む誰もが被災者であり、災害はどの家族にも辛い体験を強いていることを痛感した。また、預かり保育を利用した保護者からは、「子どもたちを見てくださり、安心して片付けができました」「いろいろな方からの応援が嬉しかった。前向きに頑張ります」「いっぱいいいいっの中、頑張ろうね、と手を握ってくださった、あのぬくもり・力強さが嬉しかったです」とたくさんの感謝の声があり、改めて大変な中、職員一丸となって頑張ってきたと感じた。

今回の災害は、本当にあつてはならない出来事ではあつたが、多くの方々の応援や支えがあったからこそ乗り切ることができたのではないかと思う。自分たちも被災していないながらも幼稚園のためにと尽力して下さる地域の方々の愛情も大変心強かった。また、職員一丸となって対応ができ、人間関係ができていたことも一番の力であったと思う。「やっばり、岡田が一番です。大変ですが、帰ってきます」「幼稚園の送り迎えでみんなに会うことができてとほっとします」「先生たちが明るく接してくださること、一生懸命頑張ってくださっていることがうれしいです」などの保護者の声をありがたがろうととも、改めて幼稚園や職員の役割を考えさせられた。保護者や子どもたちの思いに一層寄り添いたいから、今後も『岡田の輪和』をもって職員一同頑張っていきたい。

岡田幼稚園 園長



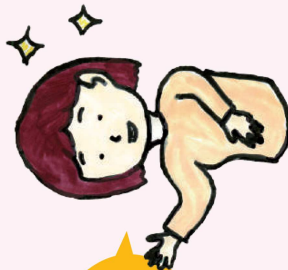
岡田幼稚園

子どもの声は生きざるのぞみ

そしてまちの未来。



臨時真備児童館



子どもの一時預かり支援は、保護者をサポートするための仕組みです。被災すると、家の片付けや支援の申請手続き等しなければならぬことがたくさん。手続きを進めるためにも、使えるサービスはどんどん利用しましょう。

# 子どもの様子が気になるとき

## ●成長発達

「赤ちゃん返り」「できたことができなくなった」「出席したことや授業の遅れが気になる」「いろいろなことが」おくれればうしろと、被災後には成長発達の影響が気になることが多いです。その時は、まず気になったことを、話せるところがあるといいですね。子どもが通う保育園や市の保健師さん、かかりつけの病院などがあります。遅れを感じるころがあったり、被災の影響が一時のことが多くあります。親は子どもの将来の事が不安になって、過剰にいるいるることをさせたくないが、子どもにとって、結果的に負担になったり、不安なことを引き寄せがちです。先の事を考える機会が多い時期なのに「この先、このおかしな」と感じたりと「こころが心配」と思いがちです。不安を感じたら、考えすぎずに不安を呼びこむ前にまず誰かに話してみよう。

## ●病気

持病があったり、薬が切れそうだったり、様子が急に変わるようなときは、受診可能な病院までの移動時間などを考えて早めに受診するように心がけましょう。かかりつけの医者が被災している場合もあるので、保険証と母子健康手帳、お薬手帳などを持参してください（持っていったら）。いろいろな事情があったり通院が難しい場合があります。専門機関につなげられるまでの間、とても不安だと思いますが、そんな時こそ、しっかり自信をもって子どもと接しましょう。「病気を疑ったら、早めに受診できる病院へ」

## ●こころ

夜泣きや赤ちゃん返り、落ち着きがないなどいづれも違う様子が見られることがあるかもしれません。それらは子どもが出してきた「不安だよ」「安心したいよ」のサインです。こんな時、「子どもだって不安になるのはとても自然なこと」と受けとめてみましょう。その時、家族が子どもに向けてやれる事は、子どもにとっては生涯強い味方になり、不安を乗り越える助けになります。

たとえば…

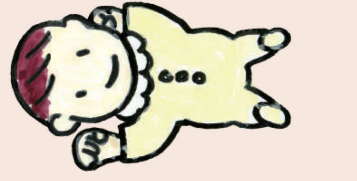
おなかを痛がる

「おなかを痛がる」「ここにかな？」と痛い気持ちに寄り添ってみましょう。  
そして、やさしくさすってみましょう。

夜泣きするとき

背中をさすって抱っこしたり寄り添ってあげよう。なかなか泣き止まなくても、気持ちの中の安心感は少しずつ大きくなってきているはず。

後追いや離れないとき、この先どうなるんだろう、治らなかつたら不安になることもあるでしょう。でも、それは子どもにとっては、不安な時にあなたがいて、安心を感じたり確かめるための行動です。子どもの心の不安な気持ちに、安心の行動が少しずつでも大きくなるのを待つように、とにかく一緒に寄り添うように接しましょう。「どんな風になつたら相談したらいい？」と迷ったら、その迷った気持ちに相談したらいいですよ。後回しにしたとき、後悔することもある。うまく相談できないかも…と思つたら、うまくなくても、まずは実行のための一歩を踏み出しましょう。



# 子育て

## ●子どもへのかかわり方（上手く一緒に遊べない、怒りすぎ、気持ちコントロールしにくい）

あなた自身が疲れ果てたりして、余裕がなくなってきたら、自分のことを後回しにしてみてください。まずは自分に聞いてみましょう。自分自身のケアがちゃんとできて、心身が落ち着いたら変わることもたくさんあります。

怒りすぎること自体は、それをやめるチャンスです。怒りそうな気配を自分に感じるとき、ずっとその場を離れたり、深呼吸したり、気持ちを切り替えたり。あと、信頼できる誰かに気持ちを聞いてもらおうのもよいでしょう。自分一人ではなく、頼りになる人、相談できる人を見つけたら、考えすぎない、悩み過ぎない、助けて欲しいと声を出すことも変わるための大切な方法です。

## ●子どもが学校に行かない・行けない・・・

まずは、子どもの声を聴いてあげましょう。ひと息つきながら、責めず、焦らず、一つ一つのことに向き合ってみましょう。ずっと続けられなくて、一時的なこともあります。被災のストレスや急激な生活の変化によって、心身が疲れてしまったり、自分の気持ちがいまいちわからないのがあったり、学校や先生とのやりとり、友だち関係など子どももいろいろな感情の動きや事情があります。早い時期に周りの理解が得られて少しお休みすることで元気を取り戻すこともあります。「この子の味方になる」という気持ちで子どもに寄り添い見守りながら、乗り越えていく応援者でいてください。

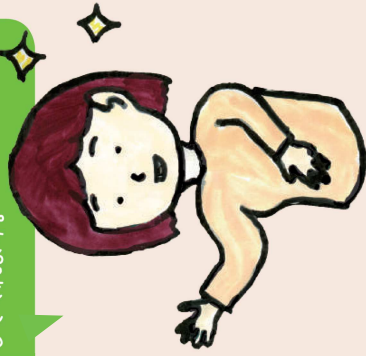
# 子どものこころのこと

### 子どもの気持ちが心配

この調子はいつまでも続くの？

夜泣きとかそわそわしたりするけど、これってひどいほう？

子どもの変化に気付いてやっとなかった？ いまからでも遅くない？



この時期の子どもは不安なサイン。焦らないで、子どもの言葉を聞きましょう。悩みや泣くことには、その調子に合わせて、付き合う気持ちで、それが子どもの心の中の安心の気持ちを増やしてくれたい。

# 周りの人とのつきあい、自分のこと

## ● パートナーや家族との関係

被災は非日常の始まり、いつもと違うことがたくさん起きる中で、パートナーや家族との関係も、今までになかったことを経験することが多分にあります。被災のショックで一時的に人柄が変わってしまったり、しんどすぎていつもよりもキャパが小さくなったり、家族の中で支えあうことが大切な時期、とはいえ、辛い気持ちが続くだけでは、今は我慢だけでやり過ごしても、後々そのことが原因でいろいろいる関係性が変わることがあります。まずは、「今、自分が安全で安心できるにはどうしたらいいか」と考えて、自分にとって傷つかず、相手や出来事との「つらくない距離」を探ってみましょう。今を、うまく乗り切ることの後々落ち着いた時により関係に長れることもあります。心理的にも物理的にも「適度な距離」が取れる工夫をお勧めします。

## ● 人とのつきあいが難しいと感じたとき...

被災によって、心身共に傷ついている時に経験しやすい感情です。そんな時は、無理にかかわろうとしないこと。「今はおやすみ」の時期と自分に言い聞かせてみましょう。

## ● 自分のこと...

災害にあったあなただから、「今」ケアしましょう...多くの被災した人は、発災後早くから「眠れない」、「不安」、「疲れた」、「いつまで続くのか...」といった気持ちを抱えて過ごしています。「家がなくなつた」「まちが変わってしまった」と、日頃大切にしていたものを喪失したことを経験しています。そんな時、すでにあなたは「心のケア」が必要な人になっています。早くケアをはじめると、苦しみを軽くしていきます。

## ● 妊娠している (かもしれない) ...

「妊娠は病気がやらないから、我慢できる・しないと」という風に考えることはなすすべです。「あなたは守られるべき存在」であることを忘れずにいてください。被災地では、家族の世話や今の生活に一生懸命になったり、周りに気を使われたくない気持ちになりがちで、それが流早産の原因になることもしばしばあります。のちに、ひどく自分だけを買って苦しむ女性と多く出会いました。悔いがないように、「つらい」とか「困った」をしっかりと声にしましょう。



なんだか辛いしんどい

疲れが取れない  
何もする気が出ない

こうなったのも、  
あの時〇〇したのが  
いけなかった

子どもや家族を優先し  
なすぎや

私より他の人のほうが  
被害がひどいんだし、  
甘えちゃいけない

落ち着いてから  
ゆっくりしよう



災害にあったあなたから「今」ケアしましょう。自分を後回しにしないで。どんな時も焦らない。責めない。人と比べない。自分の心と身体の声を聞き、大切にすることを忘れずにいましょう。



# 被災後の生活のポイント

- ・自分自身の気持ち (こころ) と身体をないがしろにしていませんか? と自分にたずねて、セルフケアを大切に。今が、ケアを始めるタイミング!
- ・先のことを考えすぎないようにしましょう。
- ・がまんしすぎは薬物。息をつめずに、ぶっ〜と息をぬきながら過ごしましょう。
- ・どんな時でも、その時の自分が精いっぱい決めたことです。「今の決断がベストアンサー!」「たられば・は無し!」
- ・パートナーや家族との関係がつかないと感じたときは、自分にとって苦しくない、楽な距離をとるようにしましょう。
- ・被災後は、非日常の連続です。落ち着いたら戻ることもあります。それまでは、まずは自分が安全に過ごせるようにしましょう。
- ・子どもの様子が気になるときは、まずは子どもの調子にあわせましょう。

## ● あなたが「話しても大丈夫」「安全」と感じる人を相談相手に

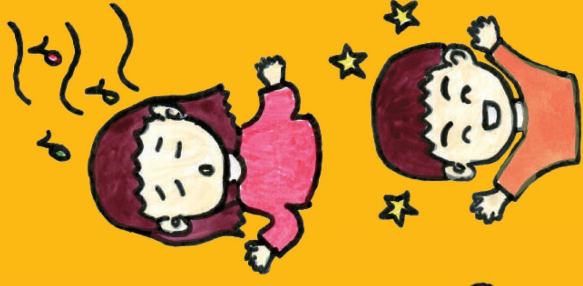
困ったこと、迷ったこと、わからないことなど、自分から声を出して相談しましょう。避難所や保健センターにいる保健師、地域の相談役 (民生委員など)、子育て支援センター、幼稚園や保育園のスタッフなどがいます。とはいえ、誰に声をかけたら良いのか迷ったり、うまく相談できないとき「もうやめよう」とあきらめてしまうことも。地域の相談役の人にもいろいろいる人がいます。あなたが話しやすい人、話して安心だと感じる人に声をかけてみましょう。「違うな」と感じたときは、別の人に声をかけてみましょう。「あなたの声をそのまま聞いてくれる人」を探しましょう。声を出すだけで気持ちが軽くなることもあります。自分のペースです。まずは「声を出す」ことから。変われるチャンスに出会えるかも。

ちよっと考えてみましょう

- ・誰に相談しますか? (例) 名前や職種など
- ・連絡先は? (例) 電話番号など

## セルフケア こんな風にしてみてください

- ・ぼーっとする
- ・深呼吸する
- ・誰かに背中をなでてもらおう (トントンでもいいよ)
- ・歌う
- ・泣く
- ・好きなことを優先する  
好きな音楽を聞く 好きな本を読む
- ・嫌なことはしない・距離をおく
- ・おしゃべり
- ・相談する



どれでも効果大!自分に、「やりたいことをやる!」を許してあげましょう。



# 災害時の子育てリアルボイス

**Aさん**  
子ども：被災時小6・小3・年少・5ヶ月

7月6日夜11時30分頃に爆発音があった。その前からアラームがなって普通ではない感じだった。家族は全員家にいた。とりあらず高いところに行こうと、車で吉備路クリンセンターに行った。クリンセンターに行ったのは、友達や知り合いのLINEで「岡田小学校は渋滞で入れないので大変。それ以外に行かない」という情報があったから。鍵が開いており、一人職員がいた。避難所ではないから物質はなかったけれども、避難するにはよかった。駐車場は広くて、トイレもあった。車内で朝を迎えた。家に帰り、朝ごはんを食べていたら田んぼの水位が上がってきた。家の近くの高台に上がった。遠い、遠い世界のように感じた。家が浸水する姿がみえた。7日の夕方4時くらいだと思っ。床上190cm弱だった。主人の実家も浸水、母、父を含め総勢14人で玉島の親戚宅に避難した。両親と主人の両親は、昼間は片付けのために真備に行き、夜は玉島の姉の主人の実家にお世話になっていた。

母子手帳、通帳、印鑑は全部ひとまとめにしていて、とりあえず持つて避難した。それ以外は何も。家電を2階に上げる暇もなかった。両親のものは1階、家族のものは2階にあった。家は、主に、主人と父が二人で片付けた。兄の知り合いの手伝いがきてくれた。つながりを通しての支援が多かった。ボランティアが来たのは21日から。その当時は岡田にまではまわってきていなかった。

その後、自宅の二階で1週間～10日程度過ごした。自宅の二階は、電気・水道は使えた。IHのコンロがだめだったから、カセットコンロを使った。お風呂は無料開放しているところに行きたくれども、時間は決められているし、次から次へと人が来るし、落ち着かなかった。家の片付けをしてからお風呂に行くから、時間もずらせない。洗濯は、玉島にいるときには、コインランドリーに通っていた。自宅の二階にいるときには、冷蔵庫・洗濯機、



電子レンジを新しく買ったのでそれなりに住んでいた。連鳥ではアパートだった。みなし仮設を申し込みに行き、連鳥のみなし仮設に入った。自宅の近くに空いている家はなかった。病院もあるし、店もあるし便利だった。5月のGWにリフォームが終わって戻ってきた。小学校は、即休みになっていた。小学校の学習ルームは、宿題ができるように開いていたけれども、子どもは行かなかった。友達はどこにいるのかもわからなかった。私も友達に連絡をとればよかったけれども、とにかく余裕がなく大変だったので、9月からスクールバスで通学した。でも、家からバス停までが遠かった。最初のうちはよかった。エアコンもかかるし。「バス通、バス通」と言っていた。ところが、学校までは40分くらいかかる。徐々に苦痛になっていった。子どもはもともとビビリ。それまでは一人で自分の部屋で寝ていたけれども「一人で寝るだけではない」と。夜中の爆発が印象的だったのかもしれない。幼稚園は二学期の間休ませた。本人は友達に会いたかったらうけれども、毎日送迎することは厳しいと感じていた。子どもを預けることは考えなかった。片付けにはノータッチで、子どもの面倒に集中した。ミルクは、支援があったのは有難かったけれども、哺乳瓶は消毒等ができなままだった。避難する時、哺乳瓶1本とミルクを持っていった。おむつはそんなにたくさん持っていないなかつたので、玉島に買いにいった。離乳食が始まっていないミルクだけの時期だったからまだよかった。

直後のタイミミングは本当にきつかった。お弁当を配っているのを取りに行った。暑くても、混んでいても、子どもを抱っこ紐で抱っこして並ぶ。無料にいただけののであれば、ただだからなければと思った。経済的にもリアルにお金が必要。失った物を取り戻さなければならない。幼稚園が子どもの年齢が違っても、買い揃えなければならない。幼稚園が大変だった。送迎もない。お弁当の準備も大変。幼稚園に一時預かりがあったけれども、幼稚園の先生ではない別の先生が支援に来ていた。延長保育は別施設だった。心のケアという点から考えられると見知った人がいると安全だと思う。園長先生は、毎日来られていたようだ。

**Bさん**  
子ども：被災時年少

7月6日は全然危機感がなかった。自宅は小学校の近くで、避難している車で渋滞していた。爆発音が聞こえてから避難した。7日の7時から幼稚園の返品回収の予定があったので、その準備をしていたら、9時頃に庭に水がきた。旦那さんが車を2台小学校へ避難させ、戻ったら藤まで水が来ていた。お金も何も持たず、携帯電話を持って、子どもを抱えて、藤まで水に浸かりながら小学校に避難した。すごい水だった。スベーターがなくて、体育座っていた。人の多さに子どもが「ギョーッ」となったので、お兄さんに電話して「真備に来てほしい」と伝えた。夕方に来てくれた。実家の母は弟と2階にいたままだった。「助けてください」とお願いしても「待ってください」と言われた。近所のポートで助けられて、1階の屋根を伝って降り、ポートで横溝正史疎開宅に連れて行かれてその後合流した。

被災後は、自宅の二階ですべて暮らしていた。友達がカセットコンロ、お鍋、おにぎりを持ってきてくれた。トイレ、水は小学校にもらいに行った。自宅は、天井のギリギリくらいまで浸水していた。電気も通ってなくて、携帯の充電もなかった。暑い中で、お風呂も大変だから、お弁当を小学校にもらいに行った。炎天下で、屋根のないなかで、1時間待つことは大変だった。屋根がほしかった。みんな「暑い、暑い」と言っていた。年配の人が、倒れたのだった。お弁当がもらえたのは有り難い。並んだ。待つのが長かった。お弁当がもらえたのは有り難い。けれども、子どもは食べなくなつた。味にもあきてくる。ずっと同じような弁当、同じようなパン、メロンパンだった。洗濯は朝にコインランドリーに行ったが、すぐく混んでいた。お風呂は、祇のゆが無料開放されたけれども、すごい人で髪の毛を乾かすのも大変だった。

旦那さんは、仕事をしばらく休んでいたが、早い時期に職場に戻った。1ヶ月も休みは取れず、2～3週間くらいは仕事に行くといいこと、一人で片付け。旦那さんも体もみ日は床を剥がしたり、一人でやってくれていた。「ボランティアは必要です」と聞かれた。「何が必要ですか？お手伝い？一杯のの？」と聞かれ、「いつになるのかわからない」といわれて来なかった。床割がしは、ボランティアではできないといわれた。家具出しは友人が手伝ってくれた。

幼稚園で託児が始まったという話を、いつ知ったのかわからない。近所の人に聞き、子どもに「行く」といっても、娘は自分から離れない。掃除に行こうとすると「その部屋入っちゃいけない」と泣いて。押除けるのもない。だいたいおぶついでから岡田幼稚園に預けた。8月くらいかな。風には迎えに行っていた。私も不安で、娘も不安な。徐々に時間を延ばして。大丈夫そうならば自分も掃除したいし、娘の様子をみながら。お昼は帰ってきてから一緒に食べて。大変だったなあ。

自分自身、大丈夫だと思っていたけれども、円形脱毛症ができていて、そのことに気づいていなかった。相当かかっていたと思っ。しんどかった。円形脱毛症には、年が明けた3月になってようやく美容院に行った。言われて初めて気づいた。髪の毛を乾かすドライヤーもなかった。そういうことも頭にきていたと思っ。今の今まで治療をしている。薬を飲んでいて、ようやく良くなった。ドライヤーも買えばよかったけれども、お金を使うのが厳しかった。家を建てて2年で再建しなければならず、保険にも入っていないなかつた。どうしよう、この先。買うのはもったい



なかった。買えないストレス、不安、眠れない。

リフォームは、旦那さんの会社がそういう仕事なので、トイレ等も自分でつけた。自分でするから安く、水道工事・電気工事も自分で。お風呂は頼んで、トイレ・手洗いはネットで取り寄せてようやく勝手口や台所などができて住める状態になった。その間はずっと二階に住んでいた。岡田の実家の方が早く修理が終わったので、実家に冬に移動した。

旦那さんは岡山の出身で自分は真備。旦那さんは、住みやすいので真備が好き。「次に災害があってもここに住む。真備はいいところじゃや」と言ってくれる。どうしようか、ここを出ようかと考えたこと。「自分たちの時代で、いい経験させてもらえたとおもう」と言われました。自分がどんどん落ち込んでいたの、持ち上げるためだったのかもしれない。家族みんな強く感じた感じがします。

家電品は買った。全部被害にあった。おもちゃもだめ、全てがだめ。二階と一階に置くのが逆転していればよかった。二階にいないものばかりあり、よく使うものは下にあった。幼稚園が始まって、二階で生活していた。お弁当づくりをしようともキッチンがない。配られるお弁当の残りを入れていた。かわいそうなんだけれども。たまにコンビニで買って、お弁当に詰めていた。その後幼稚園で200円～300円でお弁当をだしてくれた。でも、初日から子どもは食べずに残っていた。幼稚園のお弁当はだめなのかな、と思うと、コンビニやお弁当の残りを詰めていた。母親の手が入ると食べ。お弁当箱は、お風呂場で洗っていた。カセットコンロを、床において生活していた。二階は3部屋あった。お弁当箱は幼稚園から使用済みの弁当箱の支援があった。比較的新しくあったけれども。水筒もお友達がお貸してくれた。お昼はもらった。食器はオキシンにつけて洗って使った。子どもは泣き止まなかった。夜驚症。上下に体を揺らして叫ぶ。子どもも夜泣きかかっていた。兄のところを出て二階で暮らしたのでから。ストレスからなのかな、それが続いている。マツサーージで抱きしめてあげると落ち着く。市の人が家に来てくれて抱きしめてあげると落ち着く。マツサーージを抱きしめてあげると落ち着く。それはいいことですよ」と言われた。子どもが「きやっ」となるけれども、そのことを話せる友達がいなくて少し楽になった。自分だけで抱えていたら治りもおそかつたかも。吐き出す友達がいたのはよかった。

7月7日の朝は店舗裏の自宅にいた。朝7時くらいに岡田分館が浸かっていたので、高台の姉の家まで子どもを連れて避難したら、自宅店舗が浸水し戻れなくなった。当時小学1年と3年の子ども、夫、自分、父母の6人で避難した。車は取りに戻り4台の車とともに避難したが、避難途中の道が低く浸かりそうだったので、戻れるか戻れないかと思っただ。叔母の家に姉家族がいたのでそこに避難したが、叔母、姉と姉の夫と子どもが2名、そして自分の家族6名、合計11名がいた。

翌7日の9日に歩いて自宅と店舗を見に行こうとしたところ、家は入ったがグチャグチャだった。お店をどうしようか悩んだ。親戚や友人に手伝ってもらい、毎日家と店の片付け。片付けに2ヶ月かかった。ボランティアは終盤に1日だけ来てくれて、後はほとんど身内で、2m程度浸水した。

12月の大晦日に家に帰ってきた。店は、グループ補助金の関係もあり、年内に再開させる必要があったので、11月にリアフォームし12月17日にオープンした。昭和51年から今の場所に店舗がある。祖父の代（昭和21年）から岡田地区の郵便局の近くで店を始め、自分で3代目である。店の再開をやめようかとも思ったが、地域の人の応援や、学生服を販売していることもあり、みんなが困るのではと再開した。

子ども二人は姉が面倒を見てくれていた。小学校の、倉敷市の託児サービスは何度か使ったが、なぜか「あまり行きたくない」と子どもが言ったのでその後使っていない。託児サービスでは勉強させられるから、行きたくないのかもしれない。片付けをしている間は滑るに危ないので、片付けを子どもにもさせてはいない。姉の家には、いとも一緒にいたのよかったです。のかもしれない。

制服の無料配布は、他の地区は学校でやっていたが、岡田地区は店舗で行うことになった。最初、カンコー学生服が柳井原で無料配布を行う予定だったが、柳井原までは遠いから近くでやってほしいとの連絡がLINEであり、店舗でやることになっ



た。全学年分の制服を一つの袋にまとめるのが大変だったが、PTAのお母さんにお手伝いしていただいた。制服の配布は、9月の終わりから10月に行った。学校が始まった時は、私服で行っていた。

7月に、友達と支援情報を共有するためのLINEグループを作った。いろいろな友達から情報が来ていたので、それをまとめて発信できればと思い知恵を絞った。参加者が増え、150人になった。知らない人も増えた。宝石・写真の洗浄、総社の百円クリーニングやイベント、子どもの預かり、支援物資の情報を共有した。

子どもはほったらかしにしたままでもかわいそうだから、8月に片付け何もなくなってきた店舗で、スーパーボールすくいのような「子どもたち向けの祭りをやろう」とLINEグループに呼びかけた。みんな手伝ってくれた。夏祭りには、たくさん人がきてくれた。学校が始まっていないので、友達同士が会えなかったこともあった。勢いでやったことだが、子どもが喜んでる姿を見て、朝も楽しかったと言ってくれて、やってよかったと思っただ。その後、ボランティアをしたいけれども場所がない、という人に店舗を貸したり、ハロウィンの飾りなども作ったりした。岡田分館はボランティア・サテライトとなったので使えなかったし、若い子育て世代が集まる場所になっていた。PTA会長も役員も同級生で、いろいろやってくれた。

子どもを姉が預かってくれたから、店のことができた。姉の家は水も電気もきっており、自分の家から近くに行き来もできた。倉敷から車で2〜3時間かけて行き来た人にくらべたら恵まれていたとは思って、片付けは大変だった。車を避難させていたおかげでいい物には行けたが、困ったことだらけだった。何を捨てていいのかわからない、残していいのかわからない、衛生面や洗剤が、捨てるなら捨てる方がいいと思っただけで全部捨ててしまった。写る苦労を考えた方がいいと思っただけで全部捨ててしまった。写真やカメラ、データも捨ててしまった。残しておけばよかった。USBメモリは軽く使えた。残っていたUSBからはデータをとり出した。パソコンのデータも取り出してくれるボランティアがいたが、捨ててしまっただけでよかった。そういうことも知らなかった。

# 地域の声 子ども笑顔を取り戻すために

被災後、灯りのない町を眺めながら、このまま災害なんかを負いたくない！元氣な岡田を取り戻したい！でも何をすればいい？泥まみれになった大行燈を見つけて、それを暑い中、一日がかりで洗ってくれた人がいて、「子どもたちの願い飾りたい！」という思いにこたえてくれた人がいて、小さな夏祭りができた。行燈の周りで真備音頭を踊りながら、「家の明かりを増やそう」「子どもの笑顔を増やそう」そう誓った。

## 2018年

**8/4**  
泥水の中から取り出した子どもたちの共同作品大行燈に灯りをもとめて小さな夏祭り笑顔を始まりです

**8/19**  
幼・小保護者夏祭り 三宅呉服店の倉庫には久しぶりに笑顔がいっぱい

**9/24**  
サンマ祭 大船渡市からサンマ600匹と焼き師さん会場は長蛇の列美味しい笑顔

**10/13**  
岡田秋祭り 幼・小PTAと各種団体みんなで力合わせて600人の笑顔

**11/16**  
収穫祭 昔遊びでいっぱい遊んで屋食はみんなで豚汁、その中にさつま芋見つけて笑顔

**12/23**  
ふれあい朝市 朝市の後はイムイムのクリスマスコンサートプレゼントをもらって嬉しい笑顔

なにもなくなっても みんなが集まれば笑顔が生まれる 子どもの笑顔で元気が生まれる。



## 2019年

**1/15**  
とんど祭り 皆んなの願いが届くように

**2/1**  
豆まき 鬼さんと鬼ごっこ

**5/25**  
岡田大運動会 岡田地区と辻田地区の大綱引き

**5月・6月**  
玉ねぎ・じゃがいも・さつまいも子どもたちからいっぱい笑顔ももらいました

**6/9**  
しょうぶ祭り 菅浦園に苗を植えました 元気に育ってね みんなでうちわのオブジェを作りました

**6/28**  
グランウンドゴルフとカレーパーティー 畑のじゃがいもと玉ねぎと子どもたちの感謝いっぱい

**7/13**  
真備・船越総踊り 大人も子どもも雨の中頑張りました 幼児もトーマスに乗って参加

